

## 学力向上対策について（英語教育含む）

### 1 学力向上に向けた取組

#### (1) 教育委員会の施策等

##### ① 市学力調査の実施

学力の向上に向けて、市独自で小学校2～6年生の国語と算数、中学校1～2年生の国語、数学、英語の学力調査を平成29年度から実施している。この結果を検証軸として位置づけ、児童生徒一人一人の学力の向上に役立てるとともに、教職員研修に役立てる。

##### ② 学力向上推進員の委嘱

市内小・中学校の教員の教科等に関する指導力向上を図るとともに、本市児童生徒の学力向上に資することを目的に、市内小学校教員3名（国語・算数・外国語）、中学校教員3名（国語・数学・外国語）を委嘱している。学力向上推進員には、南島原市教職員研修において、視察研修を通じた授業提案をしてもらい、市内教職員の授業力向上を図る。

##### ③ 南島原市教職員研修「あかつき」

各種学力調査の結果分析や各学校の学力向上プランを基に、今年度の各学校での具体的な取組を明確にすることで学力向上につなげる。また、外国語活動の指導力を高める短期集中講座を夏季休業期間に実施する。

##### ④ 英語指導助手（EAT）

小学校学習指導要領の令和2年度からの全面実施にさきがけて、市内15校全ての小学校において、外国語活動の授業をサポートしている。本年度、EATを3名増員し、全6名でグローバル人材の育成に努めている。

##### ⑤ 英語検定の補助

市内小・中学校に在籍する児童生徒に対して、年1回の英検受験料の全額補助を行っている。平成29年度は半額補助であったが、平成30年度に全額補助にしたことによって、特に小学校においては、受験者、合格者が大幅に増加した。

##### ⑥ プログラミング教育

新学習指導要領で必修となるプログラミング教育に対応するため、児童生徒の知的好奇心や探究心を育むため、ソフトバンクグループと3年間の賃貸借契約を結び、教育用教材としてPepperを4台導入している。（全小中学校で活用）

なお、各学校での授業を支援するため、ICT支援員2名を派遣する。

## (2) 各学校での取組

### ① 学力向上プランの作成

各学校では、各種学力調査等を分析して、自校の児童生徒の課題を明らかにした上で、自校の「学力向上プラン」を作成し、日々の授業改善及び各学校の課題に即した具体的な取組を行っている。例えば、新学習指導要領の趣旨を踏まえた取組、特別支援教育の視点（ユニバーサルデザインの視点）からの授業改善や学習規律の徹底、朝の時間や放課後、昼休みの時間を活用しての学習の補充等に取り組んでいる。

### ② 市学力調査の分析

12月から1月に実施する市学力調査を分析することによって、4月の全国学力・学習状況調査及び県学力調査で、これまでの課題が改善できているかを見取り、自校の学力向上の検証軸とし、次年度の学力向上に生かしている。